

第10回 室内楽演奏会

寺神戸 亮

無伴奏

ヴァイオリンリサイタル

2013. 4. 10 (水)

18時30分(18時開場)

東京大学教養学部

駒場コミュニケーションプラザ 北館2階

音楽実習室

Wednesday, 10 April 2013, 6:30 pm (Doors open at 6 pm.)

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo
Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

ヴァイオリン：寺神戸 亮

Violin: Ryo Terakado

Program

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685 - 1750)

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ短調
Sonate II in a-Moll für Violine Solo, BWV1003

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調
Sonate I in g-Moll für Violine Solo, BWV1001

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 ニ短調
Partita II in d-Moll für Violine Solo, BWV1004



© 永田忠彦

- 東京大学の学生・教職員、および駒場友の会会員・会友限定
- 入場無料 定員120名 全席自由
- 事前に予約が必要です。受付開始3月18日(月)
学生・教職員は、駒場博物館の窓口(10-18時)で学生証・身分証明書を提示して、入場券をお受け取りください。
駒場友の会会員・会友は、駒場友の会ホームページ
<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/>より予約して下さい。
演奏会当日は、入場券と学生証・教職員証・会員証・会友証をご携帯ください。

This concert is exclusive to students and staff of the University of Tokyo and members of the Friends of Komaba. Admission free. 120 seats available. Reservation is required. Applications accepted after March 18th. Students and faculty may obtain tickets by showing their university ID at the Komaba Museum reception desk. Friends of Komaba members may reserve tickets through our website <http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/>. Please bring your ticket and ID with you to the concert.

主催：東京大学教養学部オルガン委員会 共催：駒場友の会
Organized by the Organ Committee, College of Arts and Sciences,
The University of Tokyo, in collaboration with the Friends of Komaba.

演奏者プロフィール



©永田忠彦

寺神戸 亮 (てらかどりょう)

Ryo Terakado

1961年ボリビア生まれ。1983年に日本音楽コンクール・ヴァイオリン部門で第3位入賞。桐朋学園大学を首席で卒業すると同時に東京フィルハーモニー交響楽団にコンサートマスターとして入団。しかし、在学中より興味を抱いていたオリジナル楽器によるバロック演奏に専心するために1986年に退団、オランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学、シギスヴァルト・クイケンの下で研鑽を積む。同院在学中から演奏活動を始め、「レザール・フロリサン」「シャペル・ロワイヤル」「コレギウム・ヴォカーレ」「ラ・プティット・バンド」などのヨーロッパを代表する古楽器アンサンブルのコンサートマスターを歴任してきた。またソリストとしても数多くのオーケストラと協奏曲を共演。日本では、弦楽四重奏団「ミト・デラルコ」の第1ヴァイオリン奏者や「バッハ・コレギウム・ジャパン」のコンサートマスターとして活躍、日本を代表する古楽器奏者として幅の広い活動を行っている。

2006年より、復元楽器「ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ」を用いた演奏活動も精力的に行い、国内外の話題を集めている。近年は鈴木雅明（オルガン&チェンバロ）、ボヤン・ヴォデニチャロフ（フォルテピアノ）、曾根麻矢子（チェンバロ）、フレデリック・ハース（チェンバロ）といった国内外の古楽器奏者との活動を展開している。

デンオン・アリアーレ・シリーズを中心に多くのCDを出しており、特にコレリ《ヴァイオリン・ソナタ集》（1995）、モーツァルト《ヴァイオリン協奏曲第3番、他》（1996）、ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラによるJ. S. バッハ《無伴奏チェロ組曲全曲》（2008）はレコード・アカデミー賞を受賞しており、いずれも好評を博している。最新の録音であるテレマン《無伴奏ヴァイオリンのための12のファンタジア》（2011）で、平成23年度芸術祭優秀賞を受賞。バッハ《無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ》（2000）に続いて2度目の受賞となった。

『第1回北とぴあ国際音楽祭'95』において、パーセルの《ダイドーとエネアス》で指揮者デビュー。以後、同音楽祭ではラモーやモーツァルトなど、フランス・バロックとモーツァルトの作品を中心に公演し、日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。

現在、デン・ハーグ王立音楽院教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授。ブリュッセル在住。

【使用楽器】

ジョヴァンニ・グランツィーノ（1691年ミラノ）

【寺神戸亮オフィシャルホームページ】

<http://www.lesboreades.info/RyoTerakado/>

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏（森ビル株式会社初代社長）のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室（講堂）にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。

こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」（駒場友の会）からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>
Tel. 03-5454-6139（駒場博物館）
Tel. 03-3467-3536（駒場友の会）

